

「すてっぷ」を中心に活動を行った。

また柏原市内にあるパナソニックサイクルテック様、ジェイテクト様のご協力で、工場内に専用の回収箱を設置させていただき空き缶回収を行っている。

作業工賃は工賃規程に基づき毎月利用者に支払った。

年間(1人につき)：平均 36,071円

活動班別作業収益

作業班	軽作業 (1階)	リサイク ル	アクティ ブ	すてっぷ	軽作業 (2階)	計
収 益	682,935	891,580	68,550	295,340	587,273	2,525,678

(4)行 事

令和4年度は新型コロナウイルスの影響により大幅な行事の見直し・縮小となったが、利用者からの希望を聞き行事に組み込んで行った。

日 時	行 事 内 容	参加者数
5月3日	自治会お楽しみ行事	37名
5月5日	GWお楽しみ行事	37名
8月5日	柏原市作業所連絡会文化祭	9名
8月7日	自治会行事	38名
8月12日	作業慰労会	37名
8月24日	夏祭り花火大会	28名
10月15日	高井田苑祭 家族懇親会	49名 家族 29名
11月4日	法人祭	28名
11月23日	昼食クッキング	5名
12月19日	クリスマス会	39名
12月24日	すてっぷ年末慰労会	11名
12月28日	作業慰労会	28名
3月21日	焼きそば大会	29名

(5)自治会活動

利用者自治会の会議を月1回開催し、利用者から出た行事や食事に対する意見等を支援に反映させた。

(6) 健康管理

定期健康診断を年 2 回、歯科健診を年 1 回、インフルエンザの予防接種、またコロナワクチンの接種（通算 4 回）のほか、嘱託医・内科医、歯科医による往診を毎月定期的に実施した。本年度の疾病等による受診件数は発熱外来含め 192 件あった（前年度 194 件）。今後も年齢や体力面等に配慮しながら健康管理に努めていく。

職員に対する抗原検査 5/9～3/31 106 回 延べ 6362 人実施

(7) 栄養管理

できる限り利用者の希望に応えられる食事が提供できるように努めた。また四季折々の催事も意識し、ただ単に食事を摂るだけでなく楽しめる食事となるよう心がけている。

また管理栄養士による栄養マネジメントを行い、個々の栄養状態、身体状況を把握し、健康状態の維持、向上に努めた。

(8) 安全管理

令和 4 年 9 月 28 日と 5 年 3 月 22 日の 2 回、利用者、職員が参加し、避難訓練を実施した。

また 3 月には消防署指導による消火訓練と救命講習を行った。

(9) 家族会との連携

家族会定例会は今年度も新型コロナウイルスの影響で開催されなかったが、折々に利用者に対して果物や菓子類の差し入れをいただいた。

3. 職員体制

(1) 職員数

職名	施設長	サ 理 ビ 責 ス 任 管 者	生 活 支 援 員	栄 養 士	調 理 員	医 師	看 護 師	事 務 員	そ の 他	合 計
常勤	1	1	18	1	1		1	2		25
非常勤			14		5	1	1	1	1	23
計	1	1	32	1	6	1	2	3	1	48

(2) 会議の状況

会議名	開催頻度	
職員会議	月1回	全体会議
主任会議	随時	運営内容の検討と方向性の確認
リーダー会議	月1回	フロアでの活動状況の報告・伝達
虐待防止委員会	随時	身体拘束適正化委員会兼ねる
危機管理委員会	随時	感染症及び蔓延防止のための対策
入所検討委員会	随時	
衛生委員会	月1回	職場環境について協議し、改善を図る。(1月より)
フロア会議	月1回	支援方法の検討と情報の共有
ケース会議	月1回	小グループでの個別ケース検討
引き継ぎ	毎日	午前・午後の2回 状況の確認と情報の共有

(3) 研修

①施設内研修 月1回、第三者委員の岡井哲明氏に講師をお願いし、テーマを設定し小グループでの研修を行った。

また、非常勤職員に対しても、障がい特性や権利擁護についての研修を行い、理解を深めてもらう機会を設けた。

②人権研修

令和4年10月26日 11月16日	高井田苑職員（非常勤含む）、グループホーム世話人、居宅介護ヘルパーを対象に行った。
----------------------	---

③施設外研修

令和4年6月～	障害福祉サービス等指定事業者集団指導 web講習
令和4年10月3日	強度行動障害支援者研修（基礎研修）
令和4年11月21日	虐待防止ネットワーク会議
令和4年11月29日	ステップアップ人権研修
令和4年12月6日	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）
令和4年12月6日	府社協 防災研修
令和5年1月26・27日	福祉協会全国大会（大阪）
令和5年2月17日	柏原市高齢者・障害者虐待防止研修会
令和5年3月3日	府社協 看護職員研修 web研修

年間継続研修

- 地域支援部会（グループホーム）
- 障害者支援施設部会 幹事会
- 柏原市自立支援協議会
- 柏原市虐待防止ネットワーク会議
- 柏原市地域貢献委員会
- 柏原作業所連絡会研修会

(4) 実習受け入れ状況

学 校 名 (実習目的)	期 間	日数	男	女
東大阪大学	令和4年6月23日～7月3日	10日	1	
東大阪大学	令和5年1月30日～2月13日	10日	1	1

別紙

年齢別・支援区分別（表1）

区分	男性				女性				合計
	3	4	5	6	3	4	5	6	
25～29歳									0
30～39歳	1	1	3	1		1	1		8
40～49歳		2	9	8	1	2	1	2	25
50～59歳		1	4	3		1	2	3	14
60歳以上		1				1		2	4
合計	1	6	16	12	1	5	4	6	51

実施機関・活動内容別利用者数（表2）

	援護の実施 機関	男	女	計	施設入所 支援	共同生活 援助	生活介護 (日中活動)
1	柏原市	15	6	21	9	12	21
2	羽曳野市	1		1	1		1
3	藤井寺市	1	1	2	2		2
4	八尾市	4	3	7	3	4	7
5	東大阪市	3	2	5	4	1	5
6	大東市	1		1	1		1
7	寝屋川市	2		2	1	1	2
8	守口市		1	1	1		1
9	茨木市	1		1	1		1
10	箕面市		1	1	1		1
11	高槻市	1		1	1		1
12	交野市		1	1		1	1
13	枚方市		1	1	1		1
14	堺市	2		2	1	1	2
15	泉大津市	1		1	1		1
16	太子町	1		1	1		1
17	大阪市	1		1	1		1
18	松原市	1		1		1	1
	合計	35	16	51	30	21	51

日中一時支援・短期入所事業報告

1 内 容

事業認可 平成 18 年 10 月 認可
 短期入所の種類 空床型
 日中一時支援利用人数
 利用期間 障害者（児）受給者証に記載されている日数
 担当職員 支援員を充当

2 基本方針

保護者、家族の傷病等や仕事の関係、利用者本人の状況から介護が困難となった場合、また、保護者等の精神的、身体的レスパイトが必要な場合に短期入所サービスを提供した。

3 基本の支援

利用者の個別状況に配慮しつつ基本的に入所利用者の日課に沿った支援を行った。

4 日中一時支援・短期入所サービス利用状

令和 4 年度 短期入所支援 利用日数

	性別	市町村	区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		
A	男性	柏原市	3	0	0	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	12
B	男性	藤井寺	4	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12
C	女性	藤井寺	4	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12
D	男性	柏原市	6	5	4	5	6	12	3	4	0	0	0	0	2	41
E	男性	柏原市	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	14
合 計				5	4	13	10	12	3	4	24	0	0	14	2	91